ぬまづ 市議会だより

平成28年5月15日
第210号

みんなでこいのぼりをつくりました（市立北部保育所）
～こいのぼりフェスティバル（4月24日～5月5日開催）～

平成28年度　予算のあらまし

●一般会計・特別会計・企業会計の予算を可決しました…… P. 2～4

市政について問う！

●16人の議員が一般質問（代表質問・個人質問）を行いました…… P. 6～10

定例会の主な内容

第４回（２月）定例会は、２月12日に招集され、３月17日までの35日間にわたり開催しました。この議会では、市長から平成28年度の施政方針が述べられた後、平成27年度関係議案、平成28年度関係議案等の審議をそれぞれ行い、いずれも原案のとおり議決しました。また、市長の施政方針に対する代表質問が行われ、６つの会派から質問がありました。さらに、10人の議員から個人質問が行われました。ここでは、平成28年度の一般会計、５特別会計及び３企業会計の予算審議、歳入・歳出予算額等の主な内容をお知らせします。

特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入でその支出を賄う会計です。

会　　計	平成 28 年度予算額	平成 27 年度予算額	増減率
国民健康保険事業	271 億 1,100 万円	272 億 6,800 万円	△ 0.6%
土地取得事業	5 億 1,600 万円	5 億 1,000 万円	1.2%
介護保険事業	149 億 8,400 万円	149 億 8,300 万円	0.0%
簡易水道事業	390 万円	410 万円	△ 4.9%
後期高齢者医療事業	22 億 3,100 万円	20 億 8,000 万円	7.3%
合　　計	448 億 4,590 万円	448 億 4,510 万円	0.0%

企業会計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。

会　　計	平成 28 年度予算額	平成 27 年度予算額	増減率
病院事業	132 億 7,000 万円	134 億 7,000 万円	△ 1.5%
水道事業	50 億 4,100 万円	52 億　600 万円	△ 3.2%
下水道事業	88 億 7,800 万円	94 億 9,300 万円	△ 6.5%
合　　計	271 億 8,900 万円	281 億 6,900 万円	△ 3.5%

特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

問 土地取得事業における土地売払収入の内容は。一般会計へ売却する理由は。

答 沼津駅周辺総合整備事業促進用地のうち、杉崎町4号管理地800平方メートル及び大岡1号管理地336平方メートルの2カ所を、5億898万4,000円で一般会計へ売却するものである。一般会計へ売却する理由としては、沼津駅周辺総合整備事業を初めとする本市の事業の代替地などとして需要があった場合に、一般会計で速やかな対応ができるよう売却するものである。

問 地域包括支援センターの拡充に向けた取り組みは。

答 地域包括ケアシステムをそれぞれの地域で中心となって進めていく。地域包括支援センターについては、現在８カ所あるが、第７次高齢者保健福祉計画において、４カ所を新たに設置することとなっているため、平成28年度においては、計画に基づき、この４カ所についての公募を行っていく予定である。

問 認知症予防対策における新たな事業内容は。

答 中学生を対象とした認知症サポーター養成講座のほか、認知症の人やその家族の相談等の支援を行う団体や事業所を認知症カフェとして登録していく。

問 市立病院の経営改善に向けた取り組みは。

答 平成28年度に今後の市立病院のあり方について検討する組織を立ち上げ、経営形態を含め、最善の方向性を探るとともに、静岡県地域医療構想とリンクした病院改革プランの策定に取り組んでいく。

問 医師不足への対応として、定年退職をした医師の採用は。

答 市立病院においては、定年退職をした医師を嘱託で雇用している実績があり、今後も退職後の医師の雇用について考えていきたい。

問 水道事業の財源確保は。

答 営業収益が年々減少する中、施設の更新や耐震化は計画的に進めていかなければならないため、引き続き、経費の節減に努めるとともに、補助金の確保のほか、将来負担の公平性や財政規模の平準化などを勘案した中で、計画的な企業債の借り入れを行うなど、財源の確保に努めていく。また、必要に応じて料金の見直しも行っていかなければならない。

問 下水道事業の経営に対する考えは。

答 平成26年度に使用料の改定を行ったが、今後も厳しい経営状況が続いていくものと考えられるため、引き続き経費の節減に努め、補助金の確保や計画的な企業債の活用など、財源の確保を図るとともに、社会状況や経営状況を踏まえ、適切な受益者負担となるよう定期的に使用料の検討を行うなど、経営の健全化に努めていく。

平成28年度予算を可決しました！

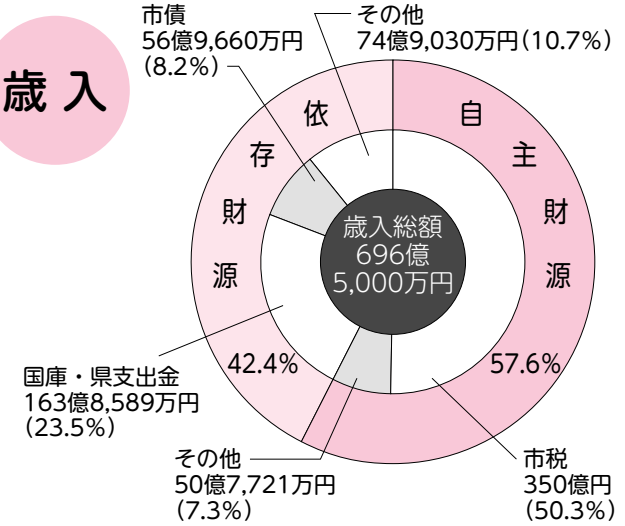
総額 1,416 億 8,490 万円

一般会計

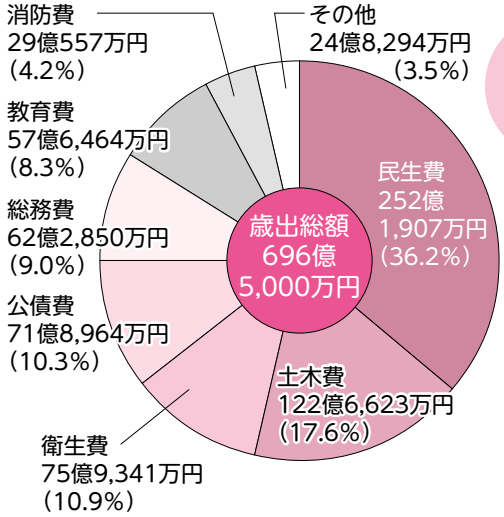
一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

平成 28 年度予算額	平成 27 年度予算額	比　較　増　減	増減率
696 億 5,000 万円	710 億円	△ 13 億 5,000 万円	△ 1.9%

歳入



歳出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 平成28年度における児童扶養手当の拡充内容は。

答 ひとり親家庭の応援施策として、経済的な支援の拡充を図ることを目的に、子供が2人以上いる世帯の手当額について、現行、月額で、第2子については5,000円、第3子以降は1人につき3,000円を支給しているものを、平成28年8月分からは、所得に応じて、第2子については最大1万円、第3子以降は1人につき最大6,000円を支給するものである。

問 沼津しごと応援事業の内容は。

答 市内企業の安定した雇用の確保を図るとともに、市内企業への就労促進により定住人口を確保することを目的に、本市独自の就職応援サイトを立ち上げ、本市に立地する企業の魅力を十分に発信し、市内企業への就職活動がしやすい環境を整え、若者のU・I・Jターンを支援する。また、高校生を対象とした就職支援セミナーの開催により、就業意識を高めるとともに、早期離職の防止に向けた取り組みを行うものである。

問 空き家等への対応状況と平成28年度における取り組みは。

答 沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例が、平成27年4月1日に施行されたことにより、税情報等による所有者等の調査が可能になり、全ての空き家の所有者等に適正管理についての文書を送付し、現在は案件ごと個別に対応している。また、平成28年度については、条例に基づき、空き家等の状況や命令等の措置に関して審議を行う「空き家等対策審議会」を設置する。

問 学校規模・学校配置適正化推進事業の内容は。

答 平成27年度に策定した「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の概略方針」に基づき、まちづくりの観点を踏まえた上で、適正規模・適正配置に係る基本方針を策定する。平成28年度においては、今後、児童生徒の著しい減少が見込まれる戸田地区において推進委員会を設置し、適正化に向けた検討を行っていく予定である。

問 第4次総合計画に掲げる主要施策について、平成28年度予算への反映は。

答 少子化対策・子育て支援、民間と連携した活力あるまちづくり、国際化に対応するコミュニケーション能力の向上に力を入れることとし、後期推進計画に掲げる主要事業について、約108億3,000万円を予算計上している。第4次総合計画に掲げる予算としては、環境にやさしく、安全・安心を実感できるまちについては17事業、約47億8,000万円、元気でいきいきと暮らせるまちについては22事業、約16億3,000万円、魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまちについては31事業、約44億2,000万円をそれぞれ予算計上している。

平成28年度予算の主な事業

第４回（2月）定例会で可決された平成28年度予算の中から、主な事業を紹介します。

３人以上の子供がいる世帯の保育料の軽減・無償化

予算額
１億2,000万円

人口減少や少子化対策として、３人目以上の出生数の増加を目指し、３人以上の子供がいる世帯を対象に、幼稚園、保育園、認定こども園等の保育料について、第２子は半額、第３子以降は無償化をするなどの軽減を図るものです。

▲子供を産み育てやすい環境づくりを目指します

駿東伊豆消防組合負担金

▲駿東伊豆消防本部（寿町）

予算額
22億3,734万円

平成 28 年４月１日に設立された駿東伊豆消防組合に対する負担金です。沼津市、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、函南町、清水町の４市３町による消防の広域化により、より高度な消防体制の確立を目指します。

文化財施設整備推進事業

予算額
3,640万円

▲旧静浦西小学校校舎（志下）

大諏訪にある文化財センターを旧静浦西小学校校舎に移転するため、整備をするものです。情報発信機能をもつ施設として改修することで、さらなる活用が期待されています。

第３子以降の保険適用医療費を完全無料化

予算額
2,000万円

▲子育て支援のさらなる充実を図ります

３人以上の子供がいる世帯を対象に、第３子以降の通院（中学３年生まで）・入院（高校３年生相当年齢まで）の際にかかるこども医療費（保険適用分）の自己負担額を無料とするものです。

若者世代住宅取得促進事業

予算額
3,500万円

▲三世代同居・近居を支援します

自然に触れ、感性豊かに子育てができる本市への若者世帯の移住・定住を支援するため、本市に転入して、住宅を取得又はリフォームし、親と同居する若者世帯に「沼津市若者世帯定住支援奨励金」を交付するものです。

マミーズほっとステーションぬまづ運営事業

▲マミーズほっとステーションぬまづが開設される保健センター（八幡町）

予算額
1,470万円

専属の母子保健コーディネーターを配置した「マミーズほっとステーションぬまづ」を開設し、相談支援体制を強化するとともに、産前産後のサポートの充実を図るなど、妊娠・出産から子育てまで、切れ目なくトータルに支援します。

リノベーションまちづくり推進事業

▲リノベーション手法を活用した店舗

予算額
1,700万円

市内の遊休不動産をリノベーションの手法により活用することで、新たな雇用や居住環境等を創出し、地域の活性化を推進します。実際の遊休不動産を題材に実事業化を目指すためのスクールの開催等も予定しています。

主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
条例	議第２号 沼津市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	**■特別職の職員の期末手当を改めるとともに、退職手当の支給割合等を定めます** 一般職の職員の例に倣い、特別職の職員の期末手当の支給割合を年間 0.1 月分引き上げるとともに、退職手当に係る算定式及び役職に応じた支給割合を定めるものです。	可決
条例	議第４号 沼津市議会議員の期末手当に関する条例の一部改正	**■市議会議員の期末手当を改めます** 一般職の職員の例に倣い、市議会議員の期末手当の支給割合を年間 0.1 月分引き上げるものです。	可決
条例	議第 23 号 沼津市事務分掌条例の一部改正	**■市長部局に沼津駅周辺整備部を新設します** 沼津駅周辺総合整備事業を円滑に推進していくため、沼津駅周辺整備部を新設し、組織体制の強化を図るものです。	可決
条例	議第 32 号 沼津市国民健康保険条例の一部改正	**■国民健康保険料の賦課限度額を引き上げます** 国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、基礎賦課限度額を 51 万円から 52 万円に、後期高齢者支援金等賦課限度額を 16 万円から 17 万円に、介護納付金賦課限度額を 14 万円から 16 万円に引き上げるものです。	可決
条例	議第 39 号 沼津市防犯まちづくり条例の制定	**■犯罪のない安全で安心な地域社会の実現を目指します** 防犯まちづくりに関する基本理念や、市、市民及び事業者の役割並びに防犯まちづくりを推進するための基本となる事項を定める条例を制定するものです。	可決
予算	議第７号 平成 27 年度沼津市一般会計補正予算（第４回）	**■当初予算に 14 億 9,245 万 4,000 円を追加し、予算総額は 755 億 3,647 万 2,000 円となります** 追加したものは、給与改定等に伴う職員人件費等 8,143 万 1,000 円、臨時福祉給付金支給事業費 6 億 9,000 万円、病院事業会計繰出金 4 億 5,000 万円が主なものです。財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として基金繰入金をもって充てるものです。このほか、繰越明許費として社会保障・税番号制度システム整備事業 4,700 万円など 14 事業を翌年度に繰り越すほか、債務負担行為として文書等集配業務委託費など 139 件を追加するものです。	可決
人事	認第１号 教育長任命の同意	平成 28 年 3 月 31 日に辞職する**工藤達朗**（くどうたつろう）氏の後任として、沼津市高尾台在住の**服部裕美子**（はっとりゆみこ）氏を任命することについて同意されました。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページをご覧ください。 沼津市議会 検索

会派別　賛否が分かれた議案一覧

○＝**賛成**　×＝**反対**　※（　）内は所属議員数

	議案名		議決結果	志政会（8）	市民クラブ（6）	自民沼津（4）	公明党（3）	未来の風（3）	日本共産党沼津市議団（2）	無所属（1）	無所属（1）
条例	議第２号	沼津市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	×	×	○
条例	議第４号	沼津市議会議員の期末手当に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	×	×	○
条例	議第23号	沼津市事務分掌条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	×	×	○
条例	議第32号	沼津市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
予算	議第７号	平成 27 年度沼津市一般会計補正予算（第４回）	可決	○	○	○	○	×	×	×	○
予算	議第42号	平成 28 年度沼津市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	×	×	○
予算	議第44号	平成 28 年度沼津市土地取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	×	×	○
予算	議第47号	平成 28 年度沼津市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○

市政について問う！

一般質問

【代表質問】

第四回（二月）定例会では、市長の平成二十八年度施政方針に対する代表質問が行われ、六つの会派から質問がありました。

日本共産党沼津市議団

市民が人生のステージで主役になるための本市独自の支援は

川口　三男

問 市民の日常生活の現場を捉え、市民の人生のステージを国の方針に基づき支援していくと述べているが、国の方針に基づく市政運営では、市民は人生のステージで主役になれないと考える。本市独自の支援制度の創設や予算の確保に向けた考えは。

答 市長／本市独自の施策及び予算の確保について、平成二十七年十月に策定した総合戦略において、「沼津における安定した雇用を創出する」、「沼津への新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」という四つの基本目標を掲げ、就職、出会い、結婚、出産、子育て、教育など、人生のそれぞれのステージにおいて切れ目のない支援を行う施策を掲載した。具体的には、本市の実情に合わせ、沼津しごと応援事業、出会い応援事業、こども医療費助成事業など六十八事業を位置づけている。各施策については、喫緊に取り組む必要があることから、国や県の支援策や有利な起債等を最大限活用するとともに、ふるさと納税などによる自主財源の確保にも努め、着実な推進を図っていく。

自民沼津

Sea級グルメ全国大会の誘致を

尾藤　正弘

問 年間百四十五万人が訪れる沼津港を最大限に生かしていくことが、今後の本市発展への近道と考えるが、みなとオアシス制度の活用による事業展開とSea級グルメ全国大会を本市へ誘致する考えは。

答 市長／沼津港は、平成十九年十一月に県内初のみなとオアシスとして認定を受け、これまでに中部みなとオアシス会議の開催や国の大型作業船清龍丸の防災訓練及び見学会等を実施してきた。みなとオアシス制度の活動は、沼津港への来訪者が首都圏を中心とする中、中京圏を初め、全国からの来訪を促進する貴重な機会と考えていることから、今後も積極的に取り組んでいく。また、その一環であるSea級グルメ全国大会については、全国のみなとオアシスが集い、自慢の一品を競うイベントであり、本市は、鯖を使ったラーメンや串団子、アジの干物の素揚げを出品してきた。この大会は、回を重ねるごとに注目を集め、集客力も向上していることから、開催地には、集客による広域的な経済効果やメディアがもたらす宣伝・イメージアップ効果等も期待されている。本市としても、地域と一体となって誘致に取り組んでいきたいと考えている。

公明党

高尾山古墳保存と沼津南一色線の両立に対する今後の進め方は

片岡　章一

問 高尾山古墳の保存と都市計画道路沼津南一色線の整備について、①両立の方針が明確にされていない今の段階で、高尾山古墳の保存・活用のために必要な整備についての寄附・ふるさと納税を募集したことに対する認識は。②両立を図るには、これまでの経緯に配慮する必要があると考えるが、今後の進め方は。

答 市長／①高尾山古墳の保存に関するふるさと納税について、現時点で整備方針が確定したわけではないが、古墳の保存と道路整備の両立には、相当な費用が必要となる。高尾山古墳は、国民共有の貴重な財産であると認識しているが、その保存・活用のために必要となる費用の大半を沼津市民が負担することは過重と思われることから、必要な追加費用に充てる市の財源確保を目的とした寄附・ふるさと納税の募集を開始したところである。②沼津南一色線整備は、これまで地元住民を初め、多くの関係者の理解のもと進めてきた。特に、東西の生活道路の整備については、地元住民の二十年来の協力があったと理解している。整備方針を具体的に決定するまでには、これからもさまざまな調整が必要であり、丁寧に進めていきたいと考えている。

志政会

新最終処分場の整備に向けた取り組みは

加藤　元章

問 最終処分場の今後の取り組みについて、①新最終処分場の候補地選定に向けたこれまでの経緯は。②現処分場の延命化に対する取り組みは。③今後の整備方針は。

答 市長／①平成二十四年度に立地に関連する市内各地域の特性について調査、検討し、平成二十五年度、二十六年度は特定の候補地を選定して関係者と協議してきたが、アクセス道路のルート設定にかかわる問題等で決定には至らなかった。平成二十七年度は広域連携について模索しつつ、最新処理技術の情報の蓄積を進めてきた。これを踏まえ、平成二十八年度は現処分場の逼迫状況とあわせて新しい処理方式を取り入れた施設整備手法等について、広く市民の理解を得て、早期に候補地を選定できるように努めていく。②新たな処分場のめどが立つまでの間、現処分場の延命化を図るべく、主灰のリサイクル処理等に加え、平成二十七年度から実施している飛灰のリサイクル処理も引き続き実施し、市民生活に支障を来すことのないよう努めていく。③新最終処分場の整備を市民共通の課題として認識してもらい、積極的に市有地から候補地を選定し、地元に提示して進めていきたい。

市民クラブ

中核市移行を目指す考えは

原　信也

問 地方中枢都市の役割を担うため、中核市移行への考えは。

答 市長／中核市移行のメリットとしては、都市としてのイメージアップ及び地方交付税基準財政需要額の加算などが挙げられる。デメリットとしては、高度な専門性を有する職員の確保や、それらに伴う人件費の増加、施設の維持管理経費及び財政負担の増加などが考えられる。中核市を目指すに足るメリットがあるか、引き続き慎重な検討が必要と考えている。

問 産業振興を図り、仕事をつくることが定住人口の増加へつながると考えるが、本市の取り組みは。

答 市長／産業振興を図るため、起業、創業に関する相談窓口の設置や中小企業への事業資金融資に対する利子補給、用地取得に対する補助など、市内企業の円滑な事業展開のために効果的な支援策の実施に努めていく。また、中小企業が新商品の開発や生産性向上の設備投資等に有効に活用できる、ものづくり補助金や各支援策について、市内企業に積極的に活用してもらえるよう周知に努めている。雇用環境については、本市独自の就職応援サイトを立ち上げ、求職者と市内企業とのマッチングを図っていきたい。

未来の風

中間処理施設と香陵公園の整備計画変更の理由は

山下　富美子

問 中間処理施設の建設と香陵公園周辺整備という二つの大規模な事業を並行して進めていくことは、財政上無理があったと考えるが、①当初の計画を変更する理由は。②市民への説明は。

答 市長／①中間処理施設の建設については、建てかえ需要が集中する中で、無理に強行することが本市のためになるのかを庁内で検討した結果、当初の計画を順延することにしたものである。香陵公園周辺整備については、東日本大震災の復興需要やオリンピック特需などが想像以上であったことなどにより、入札不調や高い落札が予想されるため、当初の計画を変更したものである。また、市民文化センターなど計画地内に立地する施設を含めて全体的に整備していくことが重要であることから、現在の計画に至ったものである。多大な費用がかかることを理由にあきらめるのではなく、最適な時期に、最少の費用で、民間活力の導入や国庫補助金等を引き出すなどして事業を進めていくことが大事であると考えている。②広報ぬまづやホームページにおいて周知を図るほか、周辺地域の住民に説明をしているところである。

平成28年4月1日から常任委員会の名称及び所管が一部変更になりました

消防の広域化及び沼津市事務分掌条例の一部改正に伴い、常任委員会の名称及び所管が次のように改められました。

	旧		新
名称	総務経済委員会	➡	総務委員会
	文教消防委員会		文教産業委員会
変更内容	・消防の広域化に伴い、旧文教消防委員会の所管から、消防が外れます。 ・近年、歴史・文化を生かした観光施策、学校教育におけるキャリア教育や地産地消など、教育委員会と産業振興部との関連がふえてきたことから、産業振興部と農業委員会の所管を旧総務経済委員会から文教産業委員会に移管します。 ・沼津駅周辺整備部が新設され、建設水道委員会の所管となります。		

市政について問う！

一般質問

【個人質問】第四回（二月）定例会では、十人の議員が市政について質問しました。

議員名	主な質問項目（太字掲載）	掲載頁
髙橋　達也	**中学生の傷害事件**、放課後児童クラブ定員超過問題、動物愛護、戦略的な国際交流	8
渡邉　博夫	**体育活動中の負傷事故**、学校配置適正化、小１問題、防災施策	8
小澤　　隆	**職員の人材育成**、職員の大局的理念の共有、「沼津市職員の信条」の実践	9
長田　吉信	**アレルギー疾患への支援**、災害時非常食の備蓄	9
殿岡　　修	**鉄道高架化**、原西部の地権者、富士見町の住民への迷惑	9
久保田吉光	**本市西部地区の道の駅構想**、胃がん検診におけるリスク検診の導入	9
霞　　惠介	**学校配置の適正化、静浦小中一貫学校の成果**	10
梶　　泰久	**湧水の活用**、交流人口増加策、自噴井戸、市民団体、環境	10
渡部一二実	**フードバンクふじのくにへの支援**、インバウンド向けグリーン・ツーリズムの拡大	10
梅沢　　弘	**高尾山古墳の保存**、高校会議所と地域活性化、持続可能な自治体	10

中学生の傷害事件

本市中学生の傷害事件への対応は

髙橋　達也

問 本市中学生の傷害事件への対応と、今後の事件防止に対する考えは。

答 教育長／事件発生後、直ちに関係生徒のいる学校に指導主事を派遣し、情報を収集するとともに、学校等の対応について指導と支援を行った。事件に関与した生徒に対しては、事件当日の状況や背景について聞き取りや生活態度の改善に関する指導を行っている。各学校においては、全教職員で生活指導方針の徹底や校内規則等の遵守、規範意識の醸成など、一貫した指導に努めている。また、近年のＳＮＳ等による交友関係の広がりから、問題行動が複数の学校や市町にまたがってきているため、今後は情報交換や情報共有をさらに積極的に行い、他市町とともに問題行動の把握に努めていく。教育委員会においても生徒指導担当者を対象に、児童生徒の心理状態を把握する研修を行うなど、指導力向上に努めているところであるが、今回の事件を受け、教職員、保護者、警察等が協力して、生徒の問題行動を敏感に捉えることが不可欠と考えている。今後も問題行動の有無にかかわらず、全ての生徒が、個々の力を発揮し、生き生きとした学校生活を送れるよう努めていく。

体育活動中の負傷事故

体育活動中の負傷・事故に対する認識は

渡邉　博夫

問 本市の小中学校の体育活動中における救急搬送を必要とする負傷・事故等の発生件数とその内訳は。

答 教育長／発生件数は平成二十五年度に一件、二十六年度に六件、二十七度年に四件であり、内訳は、骨折、捻挫、打撲、熱中症等である。

問 体育活動中の負傷・事故防止のための安全確保対策は。

答 教育長／体育活動を行うに当たり、安全を確保するためには、教員が日ごろから児童生徒の健康状態を観察しながら、適正な指導を行うとともに、児童生徒の実態に応じて、みずから危険を予測し安全に行動できる能力を育むことが重要であると考えている。具体的な対策としては、施設や用具の安全点検の徹底のほか、体育活動開始時の準備運動、用具の正しい使い方や児童生徒自身の体調、体力、技能の程度に応じた目標設定などの安全指導を行っていくとともに、実技研修会への積極的な参加や安全マニュアルの活用などにより、教員の指導力向上を図っていく。また、事故発生時を想定した危機管理マニュアルを各校で作成し、医療機関等と連携しながら、全教職員が生命の維持を最優先として、適切に対応できるよう、引き続き努めていく。

職員の人材育成

本市における職員の人材育成は

小澤 隆

問 人材育成には好循環のある職場環境の整備が必要と考えるが、①ワークライフバランスの実現に向けた取り組みは。②メンタルヘルスへの取り組みは。

答 企画部長／①公務能率を向上させることにより、時間外勤務の縮減を図るため、平成二十七年七月末から八月末までの約一カ月間、本人が希望し、公務に支障がなく、所属長が認めた場合に限り、勤務時間を一時間早め、朝方勤務と早期退庁の勧奨に取り組んだ。今後も、年次有給休暇や夏季休暇等を組み合わせた長期休暇の取得や男性が育児参加するための休暇取得をさらに奨励するほか、フレックスタイム制の導入の検討など、ワークライフバランスの実現を推進していく。②月一回の専門医によるメンタルヘルス相談を初め、指定年齢に達した職員を対象としたこころの健康診断の実施、医務室看護師等が日常の職員の不安や悩みの相談に乗る心の健康相談窓口の設置、病気休職者等の復職を支援するため、試し出勤を行うことができる沼津市職員病気休職者等職場復帰支援制度の導入のほか、メンタルヘルスに関する各種研修等を実施し、職員の健康保持及び増進に努めている。

アレルギー疾患への支援

乳幼児のミルクアレルギーへの支援を

長田 吉信

問 乳幼児のミルクアレルギー疾患に対する認識は。

答 市民福祉部長／本市では、子供が生まれた際には全戸訪問し、乳児の健康状態を把握している。その中で、ミルクアレルギー疾患のある乳児を確認している。また、ミルクアレルギーが確認された場合、医師の指示により、アレルギー対応の専用ミルクに切りかえる必要があり、

一般的なミルクに比べ、保護者の負担が高額なものになると認識している。

問 高額なミルクアレルギー用のミルクを購入する際に、一般的な粉ミルクとの差額を支援する考えは。

答 市民福祉部長／ミルクアレルギー疾患を持つ乳児用の専用ミルクは、一般のミルクと比べ三倍ほどの値段であり、月額では三万円程度かかるため、これに対する補助制度の創設については、国が設置するアレルギー疾患対策推進協議会での議論を注視するとともに、先進事例の調査、医師会等関係団体の意見を伺うなど、今後検討していく。

鉄道高架化

新貨物ターミナル用地の地権者の思いは

殿岡 修

問 莫大な費用と期間のかかる鉄道高架事業は、執行すべきでないと考えるが、新貨物ターミナル用地のために土地は売らないという地権者の思いをどう受けとめているのか。

答 沼津駅周辺整備事務局長／今後とも、地権者の心情に十分配慮し、本事業の意義について、理解と協力を得られるよう、誠実に用地交渉を行っていく。

問 新貨物ターミナル用地未買収地に植えられている、名札がつけられた樹木に対する認識は。

答 沼津駅周辺整備事務局長／新貨物ターミナル用地未買収地に土地所有者以外が、樹木を植えてあることについては承知している。地権者から買収する土地に存在する樹木などについては、必要な調査を行い、樹木所有者と誠実に交渉を行い、適正な補償を行っていく。

問 新貨物ターミナルができた場合、付近の踏切が長時間遮断されることになると考えるが、その対応策は。

答 沼津駅周辺整備事務局長／新貨物ターミナルの移転に合わせて、アンダー構造の道路を一本松地区に整備することになっており、踏切に阻害されることなく、常時、南北の通行が可能となる予定である。

本市西部地区の道の駅構想

本市西部地区における道の駅設置構想に対する認識は

久保田 吉光

問 全国有数の交通量を誇る国道一号におけるポテンシャルを考え、本市西部地区における産業振興とにぎわいのまちづくりの中核施設、地元の歴史・文化の情報の発信基地として、また、地域防災の拠点としての機能を持たせる道の駅設置の機運が高まっているが、本市における今後の取り組みは。

答 企画部長／原・浮島地区においては、道の駅の設置についての議論が高まりを見せ、沼津市商工会を中心に設置に向けた研究等が重ねられてきた。道の駅は本来の幹線道路の休憩機能施設としてのみならず、地域の交流拠点施設としての役割がクローズアップされており、全国では既に千七十を超える道の駅が設けられている。そのような中、本施設に求められる機能や導入すべき機能は何か、土地の選定及び管理運営主体をどのように考えるのかなどといった基本的な課題について、最新の情報等を収集・分析しながら、十分な検討をする必要があるものと認識している。このため平成二十八年度は、市と地元住民に加え、外部識者等を交えた検討会を開催し、本施設の整備に向けた検討を進めていきたいと考えている。

学校配置の適正化

本市の学校規模における適正配置と今後の学校教育のあり方は

霞　恵介

問 学校配置の適正化検討委員会で出された主な意見は。

答 教育長／主な意見として、「児童生徒数の現状や将来推計を見ると、学校配置の適正化は、早急に取り組むべきである」、「学校配置の適正化はハード面が重視されがちであるが、教育環境や教育の質の充実など、ソフト面につなげる施策にしなければならない」、「静浦小中一貫学校が、さまざまな成果を出しているため、小中一貫教育に向けた取り組みを進めるべきである」等の意見があった。

問 静浦小中一貫学校の成果を踏まえた本市の学校教育のあり方は。

答 教育長／静浦小中一貫学校において、中一ギャップの解消や、学力の向上を初め、日常的な異年齢交流による児童生徒の社会性の向上や児童生徒数がふえるメリットを生かした学校行事の実施によるコミュニケーション能力の向上といった成果が見られている。小中一貫教育は、教育的効果が高いと考え、市内の他の学校においても、その成果を広めようと、現在、研究に励んでいるところである。今後の本市の全ての小中学校の教育のあり方として、段階的ではあるが、小中一貫教育の導入を積極的に推進するよう努めていく。

湧水の活用

湧水を活用した交流人口増加策は

梶　泰久

問 交流人口の増加に向けて、貴重な地域資源である湧水を活用する考えは。

答 企画部長／市内各地に点在する湧水の活用について、民有地にある湧水を、市が観光資源としての利用に向けて、積極的に整備やPRしていくことは困難であるが、三月二十五日にオープニングセレモニーを行う泉水源地の送水管理センターでは、送水管理機能だけでなく、沼津の水道水や美しい周辺環境のすばらしさを多くの人に伝えるべく、展望回廊でのパネル展示や展望コーナーなどを設けている。また、セレモニー当日は、沼津の水道水のおいしさを実感してもらうため、利き水体験なども予定している。清らかな湧水が数多く点在し、市域全体として、渇水期にも水の心配は全く要らないといった恵まれた自然環境、海辺や川辺などの親水空間の活用、上質な飲料水など、豊かな水を切り口として、沼津の都市イメージを発信していきたいと考えている。

▲浮島地区の湧水

フードバンクふじのくに

フードバンクふじのくにに対する支援策は

渡部　一二実

問 フードバンクふじのくには、個人または企業、団体から、余った食料、使わない食料を提供してもらい、行政、社会福祉協議会、生活困窮者支援団体などを通じ、生活に困窮し、支援を望む人や福祉施設へ食品を提供するフードバンク活動に取り組んでいるが、フードバンクふじのくにに、本市の保存期限が近づいた災害備蓄食料の一部を提供する考えは。

答 危機管理監／本市では、現在、二十五年保存が可能な非常食を、静岡県第四次地震被害想定に基づき避難所避難者用として、七日分の備蓄を進めている。保存期限の近づいた非常食については、各自主防災会の希望により、総合防災訓練や地域の防災訓練実施時などに、炊き出し訓練用として提供しているが、近年、その希望がふえてきたため、平成二十六年からは、訓練計画量を提出してもらい、調整する中で、各自主防災会に配付している。今後三年間では、平成二十八年に一万食分、平成二十九年に九千六百食分、平成三十年に一万食分が期限を迎えるが、訓練用として各自主防災会に配付する状況を踏まえ、調整の上、全体として数に余裕がある場合には、フードバンクに提供していきたいと考えている。

高尾山古墳の保存

高尾山古墳の保存を

梅沢　弘

問 平成二十七年六月定例会の最終日において、沼津南一色線道路改良事業費を含んだ補正予算議案が可決されたが、その数時間後に、市長から、高尾山古墳保存と都市計画道路（沼津南一色線）整備の両立について、外部の有識者による協議会を設置し、検討し直すとの発表があった。このことに対し、検討し直すと判断した時点で、議案は取り下げるべきであったと考えるが、取り下げをしなかった理由は。

答 建設部長／沼津南一色線は極めて重要な道路であり、できるだけ早く整備を進めるために議決をお願いしたものであるが、予算化した上でその執行に当たってさまざま調整が必要になるということは、一般的にもあることだと考えている。特に今回の場合は、六月定例会の一般会計予算決算委員会の委員長報告においても、高尾山古墳は多くの市民等が思いを寄せる本市の大切な財産であることを認識し、どのような保存活用方法が最良であるか今後も関係機関との協議を十分に行うとともに、市民への周知にも、より一層意を注いでほしいとの報告があり、その意見を踏まえた上で進めてきたものである。

意　見　書

この意見書は、平成28年3月17日に全会一致で可決された後、関係官庁等へ送付しました。

※意見書とは、市だけの努力では解決できない公共の利益に関する問題について、市議会の意思をまとめて国や県に要望するものです。

精神障害者の交通運賃割引制度の拡充を求める意見書

障害者に対する交通運賃割引は、身体障害者については旧国鉄時代の昭和25年から、身体内部障害者は平成2年から、知的障害者は平成3年から実施されてきた。運賃割引を実施している交通機関等事業種は現在、ＪＲ、民間鉄道、航空、旅客船、バス、タクシーのほか、高速道路に及んでいる。

しかし、精神障害者については、平成9年～10年当時、精神障害者家族の全国団体が主としてＪＲ運賃割引を求めて大規模な署名運動を実施しているが、割引は実現せず、以後、全国的には一部の路線バス、民間鉄道などが割引を行うようになったものの、精神障害者を除外するという差別の体制は基本的に変わっていない。

精神障害者家族会の全国組織である全国精神保健福祉会連合会が実施した精神障害者に対するアンケート調査結果（回答者約4,800人）によると、精神障害者の1カ月の平均収入は約6万円、無年金者は約20%に上った。そして、交通費の負担が大変なため、「作業所に行くのをやめた」「どこにも出かけないようにしている」「外出は自転車で行ける範囲」という深刻な実態が明らかになった。

近年、障害者関係の法制は集中的に整備され、とりわけ平成26年2月に政府が批准した国際法・障害者の権利に関する条約はその第20条で「障害者自身が、自ら選択する方法で、自ら選択する時に、かつ、負担しやすい費用で移動することを容易にすること」と明記し、第4条で「障害者に対する差別となる既存の法律、規則、慣習及び慣行を修正し、又は廃止するための全ての適当な措置をとること」「この条約と両立しないいかなる行為又は慣行も差し控えること」とうたっている。

精神障害者の自立や社会参加の機会をより一層推進するためにも、障害者の交通運賃割引制度の対象から精神障害者だけを除外することなく、上記の障害者の権利に関する条約の理念や趣旨に沿うべきであると考える。

よって、国においては、精神障害者にも身体障害者及び知的障害者と同等に交通運賃割引が速やかに実現するよう強く要望する。

第２回臨時会を開催しました！

第２回臨時会は、４月18日に開催されました。

この臨時会では、平成28年４月１日から駿東伊豆消防組合規約が施行されたことに伴い、同規約第６条第１項の規定に基づき、同組合議会の議員５人の選挙を行いました。

また、「専決処分の報告及びその承認（沼津市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正）」ほか２件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決されました。

※臨時会とは、定例会のほかに、臨時の必要がある場合、特定の事件に限ってこれを審議するために臨時招集される議会のことです。

沼津市議会選出の駿東伊豆消防組合議会議員

尾藤　正弘　　片岡　章一
植松　恭一　　梶　泰久
渡邉　博夫

ぼくとわたしの ゆめ たから

市立浮島中学校
3年
林（はやし） 穂乃歌（ほのか）さん

人とのかかわりを大切に

私には将来、美術関係の仕事につきたいという夢があります。幼いころから絵を描くことが大好きで、自分が一番好きなことを仕事にしたいと思い、この夢を持ちました。人を元気にしたり、楽しい気持ちにさせたりすることができる絵を描ける人になりたいと思っています。

そのためには、勉強はもちろんですが、たくさんの人とのつながりが大切になってきます。豊かな表現力には、豊かな心が必要です。たくさんの人との出会いを大切に、夢をかなえて立派な社会人になりたいです。

市立原中学校
3年
鈴木陸斗（すずきりくと）さん

将来の夢

僕は中学二年生になって、一つの夢を見つけました。それは中学校の理科の教師になることです。この夢を持つようになった理由は二つあります。一つ目は、理科が大好きだからです。幼いころから天体に興味を持ち、観測したり、本を読んだりして、知識を深める楽しさを知りました。二つ目は、教えるおもしろさを発見したからです。クラスの友達に教えたとき、「ありがとう」と言われてとても気持ちがよくなりました。この夢を実現させるために、さらに理科の学習に力を入れることと、相手の気持ちを考えて行動することを、心がけていきたいです。

第５回（６月）定例会から 第８回（２月）定例会の開会・閉会予定

定例会	開会予定日	閉会予定日
平成 28 年 第5回（6月） 定例会	6月6日(月)	6月27日(月)
第６回（9月） 定例会	9月14日(水)	10月17日(月)
第７回（11月） 定例会	11月25日(金)	12月16日(金)
平成 29 年 第８回（２月） 定例会	2月10日(金)	3月16日(木)

定例会開会・閉会予定は、都合により変更する場合がありますので、御了承ください。

各定例会の詳細な日程は、招集告示日（定例会開会１週間前ごろ）に開かれる議会運営委員会で協議されます。

小学生が本会議を傍聴しました！

愛鷹小学校の６年生が、社会科の授業の一環で２月定例会初日（H28. 2.12）の本会議を傍聴しました。127人の児童たちは、４グループに分かれて傍聴し、本会議の様子を真剣に見学していました。

傍聴に行こう！

市議会の活動を知っていただくためには、本会議の傍聴をお勧めします。特に、一般質問が行われる日には、市政に対する熱心な議論が交わされることから、議会の動きを知る絶好のチャンスです。

傍聴はどなたでもできます。ぜひ、傍聴席に足を運んでみませんか。

議会だよりへの御意見・御感想をお聞かせください

議会だより編集委員会では、今後の紙面づくりの参考とさせていただくため、市民の皆さんからの御意見・御感想をお待ちしています。

御意見･御感想は、郵送、電話、FAX、E メール等でお寄せ下さい。（本紙面左端参照）

発行／沼津市議会
編集／議会だより編集委員会

〒410-8601 沼津市御幸町16-1
TEL 055-934-4711 FAX 055-931-1226
E-mail:gikai-jim@city.numazu.lg.jp

市議会HPでは、本会議の録画映像などを配信中！ 沼津市議会 検索